

三条商工会議所景況調査概況

【令和 8 年 7 月～9 月期】

日本商工会議所が全国の商工会議所ネットワークを活用して、各地域での「肌で感じる景況感」（早期景気観測調査＜LOBO 調査＞）を毎月集計した令和 8 年 9 月の結果と、三条商工会議所で 3 ヶ月毎に会員事業所にアンケート調査を行った最近の業況をまとめた資料です。

- 調査対象：＜全国＞全国 321 商工会議所が 2,388 企業にヒアリング。回答数 1,893 件
＜三条地域＞会議所会員事業所 300 社以上を対象にアンケート調査。回答数 206 件
- DI 値＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）
従業員 DI は（不足とする回答割合）－（過剰とする回答割合）

【全国の業況】

9 月の全産業合計の業況 DI は、▲20.7（前月比▲0.5 ポイント）

製造業では、AI・半導体関連の引き合い増加や一部での価格転嫁の進展等により、改善した。一方で、建設業では各種コストの高止まりや人手不足の影響などを受け、悪化した。小売・サービス業では、物価高に伴う節約志向の高まりから消費意欲に弱さが見られたことに加え、天候不順による客数の減少も重なり、悪化した。

値上げの長期化に伴い消費マインドの弱さが続く中、飲食店からは、来年 4 月以降の飲食料品の消費税減税に伴う来店客数の減少を懸念する声も聞かれている。

先行き見通し DI は、▲17.3（今月比＋3.4 ポイント）

先行きについては、金利上昇や長期化する円安・物価高に伴うコスト増加が重荷となっている。十分な価格転嫁が進まないことも懸念材料であり、先行き不透明感が拭えない。

一方で、高水準での賃上げに伴う実質賃金の増加に加え、気温の低下に伴う秋の行楽シーズンの到来などが、消費マインドの底上げに寄与することが期待される。

全国の 9 月産業別業況

【建設業】

「資材価格や人件費の高騰に伴い工事費が上昇しており、計画の延期・中止等による施工件数の減少や、工事規模の縮小が生じている」（一般工事業）、「担い手不足が当地の建設業界に大きな影響を与えている。多くの地域企業では採用や人材育成に投資してきた経験が乏しいため、行政と連携し、企業および求職者双方の意識変革を促す取り組みが必要と感じる」（リフォーム工事業）

【製造業】

「半導体やデータセンター向け案件が急増。競争によりメモリ価格の高騰やプリント基板の入手困難が、製造の妨げになっている」（電気機械器具製造業）、「中東情勢や円安による原材料価格の上昇、人件費・設備維持費の上昇に伴い価格改定を実施。公正取引委員会の指導や取引適正化法を背景に、得意先との交渉はスムーズに進んだ。価格転嫁は実現したものの、値上げに伴う今後の売上低下や受注への影響を懸念している」（鉄鋼業）

【卸売業】

「価格転嫁は進展したが、販売量の減少により採算は横ばい。来年 4 月の食品の消費税減税に伴うシステム改修の負担増加が懸念される」（飲食料品卸売業）、「前年度に発生した Windows11 移行に伴う PC 更新需要の反動に加え、物価高の影響により民間の設備投資意欲は減退傾向にある。投資の優先順位としては建物修繕などが先行しており、OA 機器関連の設備投資については先送りが生じている」（機械器具卸売業）

【小売業】

「物価上昇で節約意識が高まり、食品の質を重視しない消費者が増加している。また、天候不順の影響で農作物価格が不安定である」（野菜・果実小売業）、「値上げの影響により売上は前年実績を上回っているが、消費動向を示す客数や買い上げ点数は減少している。加えて、ゲリラ豪雨をはじめとする悪天候が客足の減少に拍車をかけている」（総合スーパー）

【サービス業】

「医療・半導体関連や災害支援物資など一部で荷動きは見られるものの、深刻な運転手不足に加え、燃料価格の高騰に伴い収益は悪化している」（運送業）、「熊本地震の影響による観光客の激減に加え、夜間の宴会自粛ムードの長期化が重荷となっている。九州ふっこう応援割などの観光支援策による会食需要の回復に期待したい」（飲食店）

【令和 8 年 7 月～9 月期の三条地域の業況】

（※三条地域の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。）

<https://www.sanjo-cci.or.jp>

当地域の全業種合計の業況 DI は、令和 7 年度第 2 四半期(R7 年 7～9 月)比(以後、前年同期比という)では▲4 (前期差 13 ポイント増)となった。業種別では、建設業が±0 (前期差 25 ポイント増)、製造業が+18 (前期差 24 ポイント増)、卸売業が▲20 (前期差 8 ポイント増)、小売業が▲30 (前期差 3 ポイント減)、サービス業が▲13 (前期差±0 ポイント)となった。前回調査に比べ、建設業、製造業、卸売業は DI 値が増加、小売業は DI 値が減少、サービス業は DI 値が横ばいで推移した。

三条地域の業種別概況

【建設業】

建設業では、前年同期比の業況 DI は±0 (前期差 25 ポイント増)、採算 DI は▲14 (前期差 1 ポイント減)、売上額 DI は+21 (前期差 24 ポイント増)、従業員 DI は▲4 (前期差 4 ポイント減)となり、業況 DI、売上額 DI は増加したが、採算 DI、従業員 DI は減少で推移した。

【製造業】

製造業では、前年同期比の業況 DI +18 (前期差 24 ポイント増)、採算 DI は+6 (前期差 17 ポイント増)、売上額 DI は+18 (前期差 20 ポイント増)、従業員 DI は+4 (前期差 1 ポイント増)となり、業況 DI、売上額 DI、採算 DI、従業員 DI とともに増加で推移し、全ての DI 値がプラスに転じた。

【卸売業】

卸売業では、前年同期比の業況 DI は▲20 (前期差 8 ポイント増)、採算 DI は▲13 (前期差 2 ポイント減)、売上額 DI は▲13 (前期差 11 ポイント減)、従業員 DI は▲2 (前期差 8 ポイント減)となり、業況 DI は増加したが、採算 DI、売上額 DI、従業員 DI は減少で推移した。

【小売業】

小売業では、前年同期比の業況 DI は▲30 (前期差 3 ポイント減)、採算 DI は▲10 (前期差 17 ポイント増)、売上額 DI は▲20 (前期差 6 ポイント減)、従業員 DI は±0 (前期差 9 ポイント減)となり、売上額 DI は増加したが、業況 DI、採算 DI、従業員 DI は減少で推移した。

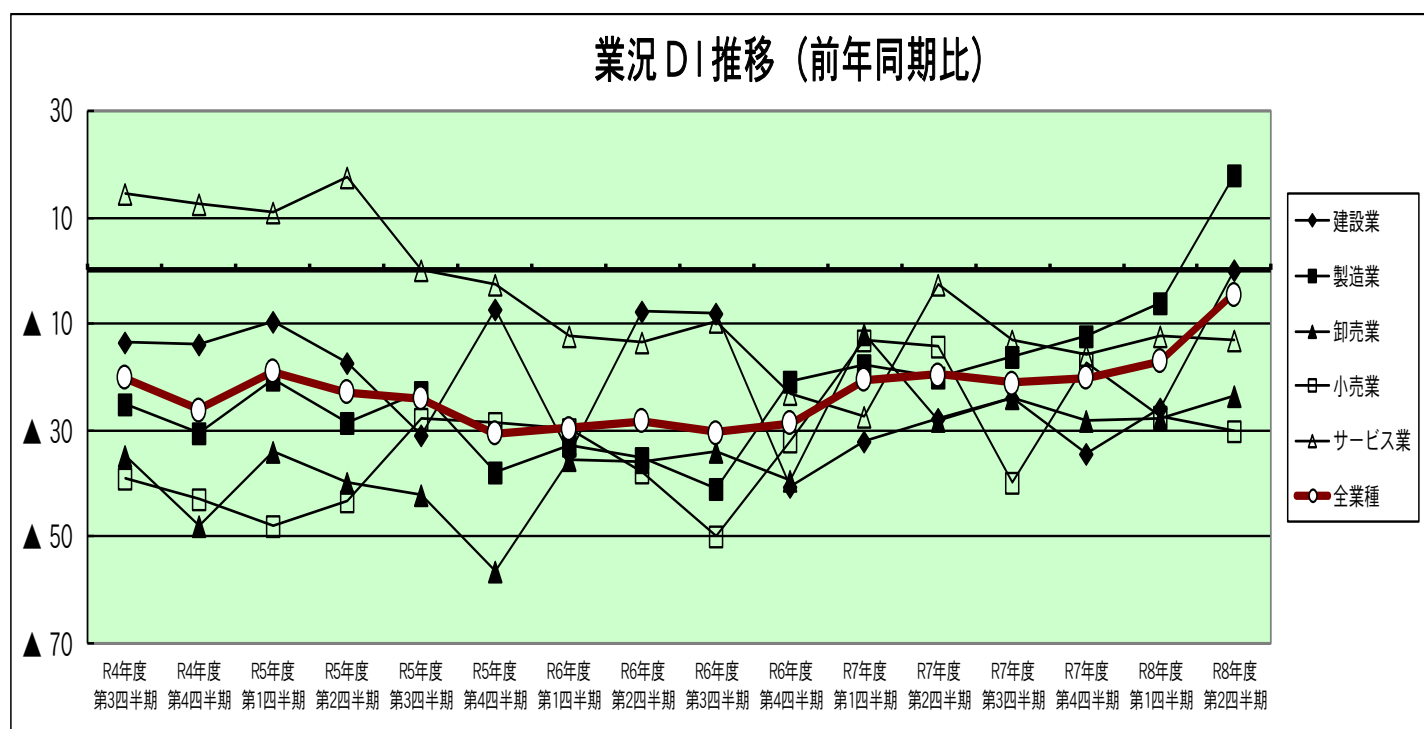
【サービス業】

サービス業では、前年同期比の業況 DI は▲13 (前期差±0 ポイント)、採算 DI は▲5 (前期差 15 ポイント増)、売上額 DI は▲13 (前期差 3 ポイント減)、従業員 DI は+3 (前期差 16 ポイント増)となり、採算 DI、従業員 DI は増加、売上額 DI は減少し、業況 DI は横ばいで推移した。

三条地域の業況 DI(前年同期比)の推移 ※DI 値＝「良いとする回答割合」-「悪いとする回答割合」

	R4 年度		R5 年度				R6 年度	
	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期
全業種	▲ 20	▲ 26	▲ 19	▲ 23	▲ 24	▲ 31	▲ 30	▲ 28
建設業	▲ 13	▲ 14	▲ 10	▲ 17	▲ 31	▲ 7	▲ 35	▲ 8
製造業	▲ 25	▲ 31	▲ 21	▲ 29	▲ 23	▲ 38	▲ 33	▲ 35
卸売業	▲ 35	▲ 48	▲ 34	▲ 40	▲ 42	▲ 57	▲ 35	▲ 36
小売業	▲ 39	▲ 43	▲ 48	▲ 43	▲ 28	▲ 29	▲ 30	▲ 38
サービス業	14	13	11	18	0	▲ 3	▲ 12	▲ 14

	R6 年度		R7 年度				R8 年度	
	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期
全業種	▲ 30	▲ 29	▲ 21	▲ 20	▲ 21	▲ 20	▲ 17	▲ 4
建設業	▲ 8	▲ 41	▲ 32	▲ 28	▲ 24	▲ 34	▲ 25	0
製造業	▲ 41	▲ 21	▲ 18	▲ 20	▲ 16	▲ 12	▲ 6	18
卸売業	▲ 34	▲ 40	▲ 12	▲ 28	▲ 24	▲ 28	▲ 28	▲ 20
小売業	▲ 50	▲ 32	▲ 13	▲ 14	▲ 40	▲ 17	▲ 27	▲ 30
サービス業	▲ 10	▲ 23	▲ 28	▲ 3	▲ 13	▲ 16	▲ 13	▲ 13

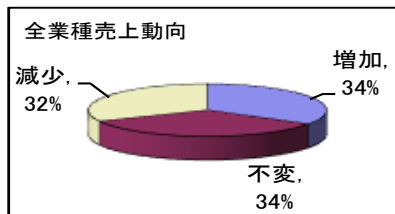


令和8年度 第2四半期(2026年7月～9月)

※四捨五入の関係上百分率の合計が合わないことがあります。

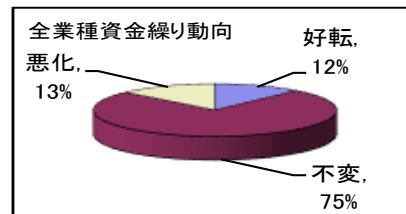
業種別売上動向（前年同期比）

業種		増加	不変	減少
全業種	件数	70	70	66
	%	34%	34%	32%
建設業	件数	13	9	7
	%	45%	31%	24%
製造業	件数	31	23	18
	%	43%	32%	25%
卸売業	件数	13	15	19
	%	28%	32%	40%
小売業	件数	5	6	9
	%	25%	30%	45%
サービス業	件数	8	17	13
	%	21%	45%	34%



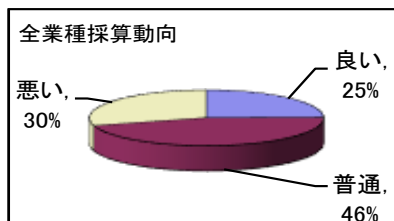
業種別資金繰り動向（前年同期比）

業種		好転	不変	悪化
全業種	件数	24	154	27
	%	12%	75%	13%
建設業	件数	6	21	2
	%	21%	72%	7%
製造業	件数	11	51	10
	%	15%	71%	14%
卸売業	件数	2	40	5
	%	4%	85%	11%
小売業	件数	1	14	5
	%	5%	70%	25%
サービス業	件数	4	28	5
	%	11%	76%	14%



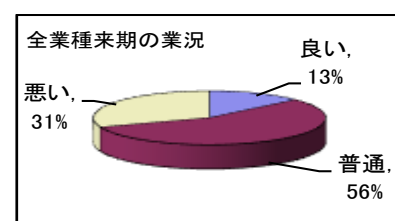
業種別採算動向（前年同期比）

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	51	94	61
	%	25%	46%	30%
建設業	件数	7	11	11
	%	24%	38%	38%
製造業	件数	22	32	18
	%	31%	44%	25%
卸売業	件数	10	21	16
	%	21%	45%	34%
小売業	件数	4	10	6
	%	20%	50%	30%
サービス業	件数	8	20	10
	%	21%	53%	26%



業種別来期(2026.7～9月)の業況(今期比の見通し)

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	22	93	51
	%	13%	56%	31%
建設業	件数	2	13	9
	%	8%	54%	38%
製造業	件数	13	36	10
	%	22%	61%	17%
卸売業	件数	4	19	16
	%	10%	49%	41%
小売業	件数	1	7	4
	%	8%	58%	33%
サービス業	件数	2	18	12
	%	6%	56%	38%



日本商工会議所の全国の業況、三条地域の業況の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。

<https://www.sanjo-cci.or.jp>